



笑顔の“たね”をつくりたい

おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト(タネプロ)
学校に行きづらい親子を応援する まちのほけんしつ活動



まるでサークルのように和やかにワークショップを行うスタッフの皆さん



2026.2.1 No.1425 広報もりやま

学校に行きづらい子どもと保護者の支援をしようと、もりやまエコパーク交流拠点施設で「まちのほけんしつ」を実施している「おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト」の皆さんを取材しました。

ほわっと安心してほほい「まちのほけんしつ」そり オープン

令和7年5月、もりやまエコパーク交流拠点施設で「まちのほけんしつ そり」がオープンしました(2カ月に一回程度、不定期)。「そり」には、市民団体「おみ子ども・若者未来のタネプロジェクト」代表の伊藤いつかさん(社会福祉士、スクールソーシャルワーカー)をはじめ、医師などのスタッフが参加します。

ほけんしつの目的は、学校に行きづらい子どもと保護者のヒーリング。予約も何もないないので親子が来るのは限りませんが、来てくれた人には、何となく楽しかったり、ほわっと安心したり、人とながり癒やされたり、時間を過ごして、笑顔になつてしまふと考えています。

学校に行きづらい子どもと保護者の支援をしようと、もりやまエコパーク交流拠点施設で「まちのほけんしつ」を実施している「おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト」の皆さんを取材しました。

ほわっと安心してほほい「まちのほけんしつ」そり オープン

令和7年5月、もりやまエコパーク交流拠点施設で「まちのほけんしつ そり」がオープンしました(2カ月に一回程度、不定期)。「そり」には、市民団体「おみ子ども・若者未来のタネプロジェクト」代表の伊藤いつかさん(社会福祉士、スクールソーシャルワーカー)をはじめ、医師などのスタッフが参加します。

け入れ先の情報がないことでし

た。そこで、県内全域で学校に行きづらい子どもと保護者のための支援情報を一冊のサポートブックにして届くようにしたい

と、令和元年に団体を立ち上げました。活動の中で専門知識・資格を有する人や同じ苦しみを経験した保護者の仲間もできました。

そこで令和5年、守山市を含む湖南エリアのサポートブックの発行で、念願だった県内全域を網羅しました。団体設立の目的を達成

次に支援活動を実践

親子の支援を始めたのは、わが子が不登校になつた経験があつ

て、感情の知性を育むワークショップ

※工事などで遊びながら自分の気持ちを見つめ、感情の知性を育むワークショップ

伊藤さんが学校に行きづらい親子の支援を始めたのは、わが

子が不登校になつた経験があつ

て、感情の知性を育むワークショップ

伊藤さんが学校に行きづらい親子の支援を始めたのは、わが

子が不登校になつた経験があつ

て、感情の知性を育むワークショップ

伊藤さんが学校に行きづらい親子の支援を始めたのは、わが

子が不登校になつた経験があつ

て、感情の知性を育むワークショップ

伊藤さんが学校に行きづらい親子の支援を始めたのは、わが



訪れた子どもたちがクッキングのお手伝い

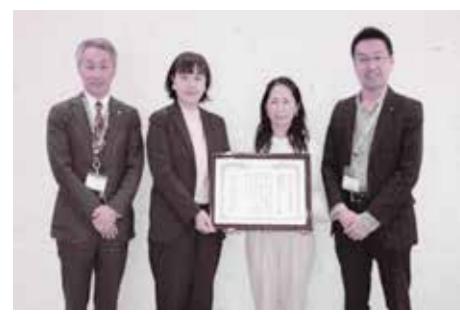


この日のランチメニュー
ミートソースパスタ、スイートポテト、スープ

サポートブックの発行で「おうみ社会貢献表彰」を受賞

滋賀県すべての、学校に行きづらい子どもと保護者にサポート情報を届けようと活動してきた「おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト」は、湖南エリア版を発行して県内全域を網羅し、県「おうみ社会貢献表彰」を受賞しました。

伊藤さんは、市長を訪問して受賞を報告し、学校に行きづらい親子の現状や支援について話しました。



※工事などで遊びながら自分の気持ちを見つめ、感情の知性を育むワークショップ